

## 研究活動 Research Activities

飯塚 隆 / Takashi IIZUKA

### [展覧会]

企画準備「指輪」展(2014年7月8日-9月15日)

### [著作]

藤本強、青柳正規編『イタリアの世界文化遺産を歩く』同成社、2013年(共著)

### [翻訳]

『システーナ礼拝堂500年祭記念 ミケランジェロ展—天才の軌跡』カタログ、作品解説計5点、国立西洋美術館/TBS、2013年

### [研究活動]

ジャン・パオロ・パニーニ作品に関する現地調査、ローマ、デルータ、2013年6月27日、28日

### [講演]

「ラファエロ」展プレミアム鑑賞ナイト・ミニレクチャー、国立西洋美術館講堂、2013年4月10日、5月15日

### [外部資金]

平成24-26年度科学研究費補助金基盤研究(C)「ジャン・パオロ・パニーニの風景面に描かれた古代建築と古代彫刻のデータベース構築」(研究代表者)

### [その他]

橋本コレクションの収蔵・管理および作品撮影

大屋美那 / Mina OYA

### [著作]

「ジャン=バティスト・カルポーと1850-60年代のローマ」『ローマ—外国人芸術家たちの都』(西洋近代の都市と芸術)第1巻(佐藤直樹編)、竹林舎、2013年(共著)

### [共同編集]

国立西洋美術館編『松方コレクションに関する展覧会：1922-1960年』国立西洋美術館、2013年(電子版)

### [調査活動]

海外における松方コレクション関連資料の収集活動、オルセー美術館(パリ)ほか、2013年6月9-18日

### [表彰]

2013年6月、独立行政法人国立美術館永年勤続による表彰

### [教育活動]

放送大学面接授業「専門科目：人間と文化—フランス近代彫刻と社会」東京文京学習センター、2013年5月14日、21日、28日、6月4日

近代ギリシャ絵画研究会主催国際シンポジウム「ヨーロッパ絵画との出会い—近代ギリシャと日本の場合—」(国立西洋美術館講堂、2013年6月8日)担当

### [外部資金]

科学研究費補助金基盤研究(C)「海外における松方コレクション関連資料の収集と公開」(研究代表者)

### [その他の活動]

ジャポニスム学会理事

川口雅子 / Masako KAWAGUCHI

### [論文]

「美術館の情報活動に関する一考察」『国立西洋美術館研究紀要』18号、2014年

「アジアからの美術書誌情報の発信：東京国立近代美術館・国立西洋美術館OPACのartlibraries.netにおける公開の経緯とその意義」『東京国立近代美術館研究紀要』18号、2014年(水谷長志・川口雅子・丸川雄三共著)

「美術史における画像の力とデジタル技術」『DHjp』2号、2014年

### [小論・報告等]

「所蔵作品データベースが目指すもの」『国立西洋美術館ニュース：ゼフェロス』55号、2013年

「国立西洋美術館：コレクションの価値を高めるデータベースへの挑戦」『文化庁月報』537号(平成25年6月号)、2013年

「部会報告 情報・資料研究部会」『ZENBI 全国美術館会議機関誌』5号、2014年

### [学会発表・講演会]

「美術館の情報資料室はどのような情報を扱っているか」筑波大学知識情報特論講演会、筑波大学、2013年10月23日

「アジアからの美術書誌情報の発信：東京国立近代美術館・国立西洋美術館OPACのartlibraries.netにおける公開の経緯とその意義」(共同発表)アート・ドキュメンテーション学会第6回秋季研究発表会、跡見学園女子大学、2013年11月17日

### [共同編集]

国立西洋美術館編『松方コレクションに関する展覧会：1922-1960年』国立西洋美術館、2013年(電子版)

### [外部資金]

平成25年度科学研究費補助金研究成果公開促進費(研究成果データベース)「国立西洋美術館所蔵作品データベース」(研究代表者)

科学研究費補助金基盤研究(C)「海外における松方コレクション関連資料の収集と公開」(研究分担者)

### [その他の活動]

アート・ドキュメンテーション学会幹事(2013年6月~)

川瀬佑介 / Yusuke KAWASE

[展覧会]

「システィーナ礼拝堂500年祭記念 ミケランジェロ展—天才の軌跡」  
企画・構成・監修、福井県立美術館：2013年6月28日—8月25日 /  
国立西洋美術館：2013年9月6日—11月7日

「ソフィア王妃芸術センター所蔵 内と外—スペイン・アンフォルメル  
絵画の二つの『顔』」展企画・構成・監修、国立西洋美術館：2013  
年2013年10月3日—2014年1月5日 / 長崎県美術館：2014年1月  
17日—3月9日

[著作]

『システィーナ礼拝堂500年祭記念 ミケランジェロ展—天才の軌跡』  
カタログ、監修、編集、章解説、作品解説一部執筆、国立西洋美術  
館 / TBS テレビ、2013年

「システィーナ礼拝堂小史—シクストゥス4世、ミケランジェロ、コンク  
ラーヴェ」『システィーナ礼拝堂500年祭記念 ミケランジェロ展—天  
才の軌跡』カタログ、pp.118-121

『ソフィア王妃芸術センター所蔵 内と外—スペイン・アンフォルメル  
絵画の二つの『顔』』展カタログ、監修、編集、解説一部執筆、国立  
西洋美術館 / ソフィア王妃芸術センター、2013年

「19世紀ローマのスペイン人画家コロニーとホアキン・ソローリヤ」  
『ローマ—外国人芸術家たちの都』〈西洋近代の都市と芸術〉第1  
巻（佐藤直樹編）、竹林舎、2013年、pp.264-280

[翻訳]

『システィーナ礼拝堂500年祭記念 ミケランジェロ展—天才の軌跡』  
カタログ作品解説一部（伊和）

ポール・バロルスキー 「ミケランジェロの想像と創造」『システィ  
ーナ礼拝堂500年祭記念 ミケランジェロ展—天才の軌跡』カタログ、  
pp.24-30（英和）

ベレン・ガラン 「内と外—ソフィア王妃芸術センター所蔵品に見るス  
페인・アンフォルメル絵画の二つの『顔』」『ソフィア王妃芸術セン  
ター所蔵 内と外—スペイン・アンフォルメル絵画の二つの『顔』』展  
カタログ、pp.14-19、坂本龍太と共訳（西和）

[講演・報告]

「展覧会の作り方と見せ方、その魅力と実践—秋のミケランジェロ展  
を手掛かりに」早稲田大学文学部美術史コース特別講演会、早稲  
田大学、2013年7月16日

「ミケランジェロ展—天才の軌跡 鑑賞案内」聖心女子学院生涯学習  
センター、国立西洋美術館講堂、2013年10月11日

「ミケランジェロ展展覧会説明」、美術史学会2013年度東支部大会  
「国立西洋美術館『システィーナ礼拝堂500年祭記念 ミケランジェ  
ロ展—天才の軌跡』にちなんで」、国立西洋美術館講堂、2013年10  
月12日

[雑誌、新聞記事など]

「ミケランジェロ展—天才の軌跡—」『うえの』653号、2013年9月、  
pp.32-34

「ソフィア王妃芸術センター所蔵 内と外—スペイン・アンフォルメル  
絵画の二つの『顔』」『うえの』656号、2013年12月、pp.30-31

「システィーナ礼拝堂500年祭記念 ミケランジェロ展—天才の軌跡」  
『新美術新聞』2013年9月1日号

「企画展 システィーナ礼拝堂500年祭記念 ミケランジェロ展—天才  
の軌跡」『ゼフェロス』56号、2013年、pp.1-2

「小企画展 ソフィア王妃芸術センター所蔵 内と外—スペイン・アン  
フォルメル絵画の二つの『顔』」『ゼフェロス』57号、2013年、p.4

「ミケランジェロ展」『未来ジャーナル』2013年10月号

[教育活動]

上智大学文学研究科文化交渉学専攻非常勤講師

[その他]

全国美術館会議企画幹事

スペイン・ラテンアメリカ美術史学会運営委員

スペイン・ラテンアメリカ美術史研究査読委員

新藤 淳 / Atsushi SHINFUJI

[展覧会]

「フェルディナント・ホドラー展」企画準備：2014年10月7日—2015  
年1月13日開催予定

「国立美術館5館共同展」(仮称) 企画準備：2015年6月16日—9月  
13日開催予定（於東京国立近代美術館）

「ルカス・クラナハ展」(仮称) 企画準備：2016年開催予定

[執筆]

「デューラー《岐路に立つヘラクレス》—版画が運んだイメージの記  
憶」幸福輝責任編集『版画の写像学—デューラーからレンブラント  
へ』ありな書房、2013年、pp.15-60

[研究活動]

在外研修：ウィーン美術史美術館、2013年5-12月 / チューリヒ、ス  
イス芸術学研究所、2014年1-2月

[その他]

『美術史』177号、査読委員

陳岡めぐみ / Megumi JINGAOKA

[展覧会]

「国立西洋美術館×ポーラ美術館：モネ、風景を見る眼 19世紀フラ  
ンス風景画の革新」展（ポーラ美術館：2013年7月13日—11月24日 /  
国立西洋美術館：12月7日—2014年3月9日）企画・構成

「ボルドー展 美と陶酔の都へ」準備（福岡市立博物館：2015年1月  
31日—3月29日 / 国立西洋美術館：6月23日—9月23日開催予定）

[調査・研究・執筆]

「松方コレクションのモネ」、江藤光紀他編著『美を究め美に遊ぶ』、  
東信堂、pp.125-139

「デュラン＝リュエルのコレクション」『パリ—19世紀の首都』〈西洋近  
代の都市と芸術〉第2巻（喜多崎親編）竹林舎、pp.439-458

『モネ、風景をみる眼 19世紀フランス風景画の革新』展カタログ編  
集、セクション・コラム執筆

「ドラクワ『平和の間』天井画をめぐる素描研究」（2013年度鹿島  
芸術財団「美術に関する調査研究」の助成）

[講演等]

「モネ、風景を見る眼 19世紀フランス風景画の革新」（武蔵野大学  
オムニバス美術講座）国立西洋美術館講堂、2013年12月19日 / 東  
京鳥取県人会モネ展鑑賞会（レクチャー）、国立西洋美術館講堂、  
2014年1月24日

「モネ、風景を見る眼 19世紀フランス風景画の革新」（ギャラリートー  
ク）、ポーラ美術館、2013年7月20日

「モネ、風景を見る眼 19世紀フランス風景画の革新」（スライドトー  
ク）、国立西洋美術館講堂、2013年12月13日、2014年1月17日、2  
月7日

「美術と美術館のために—国立3美術館・学芸員が語る」（パネル・

ディスカッション)、国立新美術館、2013年4月21日

「国立西洋美術館×ポーラ美術館 モネ、風景をみる眼 19世紀フランス風景画の革新」展紹介、『うえの』pp.27-29;『ゼヒュロス』pp.1-2;『文化庁月報』;『発見上手』pp.33-35; 読売新聞12月4日夕刊

[受賞]

第8回西洋美術振興財団学術賞

寺島洋子/Yoko TERASHIMA

[教育普及活動]

インターンシップ・プログラム指導

新規ボランティア募集、ボランティア・プログラム指導

スクール・プログラム運営

ファミリープログラム企画・実施

平成23年度 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修、東京国立近代美術館/国立新美術館、2013年7月29日-30日  
版画素描展示& Fun with Collection 2013「ピカソが描いた動物たち」企画実施

[口頭発表など]

「建築家ル・コルビュジェと国立西洋美術館」(台東区区民講座)、台東区総務部、2013年6月22日

「調査報告：米国の美術館における鑑賞教育の今」(共同発表)、日本美術教育連合研究発表会、2013年10月20日

[論文・雑誌・報告書等]

「美術館における学校利用」『博物館研究』Vol.48, No.6 (No.540)、日本博物館協会、2013年、pp.12-15

「私が学校教育に求めること」『学校教育』2013年9月号 (No.1153)、広島大学附属小学校学校教育研究会、pp.66-67

「薄布の魅力」『造形ジャーナル』Vol.59-1 (No.421)、開隆堂、2013年、pp.10-11

「米国の美術館における鑑賞教育—所蔵作品を活かしたスクール・プログラムの調査結果に基づく一考察」(共著)、日本美術教育連合第47号研究論文集、2014年3月30日

[調査・研究活動]

日本における博物館教育の歴史

報告書「国立西洋美術館の教育普及活動 1959-2009 (仮称)」のための調査

科学研究費補助金基盤研究(B)「美術館の所蔵作品を活用した鑑賞教育プログラムの開発」(研究分担者)の一環として豪美術館の教育プログラム調査を実施(2013年3月3日-15日)

[その他の活動]

東京大学人文社会系研究科併任助教授、2013年4月-2014年3月  
放送大学主任講師、2000年11月-2016年9月30日

文化学園大学非常勤講師、2013年9月5日-9月20日

一橋大学大学院言語社会研究科講師、2013年9月30日-2014年3月24日

日本博物館協会日独交流委員会委員、2013年7月-2014年3月

美濃加茂市民ミュージアム専門委員、2013年4月1日-2015年3月31日

中田明日佳 / Asuka NAKADA

[展覧会]

版画素描展示「ピカソが描いた動物たち—ビュフォン『博物誌』にもとづく挿絵本より」、2013年7月9日-8月25日

「国立西洋美術館×ポーラ美術館：モネ、風景をみる眼—19世紀フランス風景画の革新」、2013年12月7日-2014年3月9日(サブ担当)

[準備]

「ジャック・カローリアリズムと奇想の劇場」、2014年4月8日-6月15日

[執筆]

『国立西洋美術館×ポーラ美術館：モネ、風景をみる眼—19世紀フランス風景画の革新』展カタログ、コラム4点

・「オシュデ邸の装飾」

・「最後の印象派展」

・「ジヴェルニーの庭」

・「モネ=ロダン展」

[その他]

科研「17世紀オランダ美術の東洋表象研究」(2012年10月31日-2017年3月31日予定) メンバー

村上博哉 / Hiroya MURAKAMI

[展覧会]

企画展「ル・コルビュジェと20世紀美術」(2013年8月6日-11月4日) 企画構成

小企画展「生誕150周年記念 国立西洋美術館所蔵 エドヴァルド・ムンク版画展」(2013年12月7日-2014年3月9日) 企画構成

[著作・論文等]

「全国美術館会議による救援・支援活動 平成24年度報告」『東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会平成24年度活動報告書』東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会、2013年5月、pp.98-101

『ル・コルビュジェと20世紀美術』展カタログ編集・執筆、国立西洋美術館、2013年8月

「芸術家としてのル・コルビュジェ」『ル・コルビュジェと20世紀美術』展カタログ、国立西洋美術館、2013年8月、pp.10-17.

[講演・シンポジウム等]

「救援から支援へ：全国美術館会議の活動」(美術史学会美術館博物館委員会東西合同シンポジウム「震災とミュージアム」パネラー報告) 仙台市博物館ホール、2013年4月21日

[雑誌・新聞記事等]

「ル・コルビュジェと20世紀美術」『ゼフュロス』56号、国立西洋美術館、2013年8月

「生誕150周年記念 国立西洋美術館所蔵 エドヴァルド・ムンク版画展」『ゼフュロス』57号、国立西洋美術館、2013年11月

[その他]

東京大学大学院非常勤講師(文化資源学)

全国美術館会議事務局企画担当幹事

文化審議会美術品補償制度部会専門委員

宮城県美術館協議会委員

東京都美術館外部評価委員会委員  
愛知県美術館美術品収集委員会委員  
鹿島美術財団推薦委嘱者

横山佐紀 / Saki YOKOYAMA

[展覧会関係教育普及活動]

ラファエロ展

ミケランジェロ展

モネ展

講演会実施

先生のための鑑賞プログラム実施

映画上映とトークプログラム実施

作品リスト(和英)

会場作品解説パネル

団体向けオリエンテーション

会場用作品解説パネル拡大文字版制作

障がい者のための特別鑑賞会

[常設展教育普及活動]

視覚障害者受け入れのプログラム研究・実施(都立文京盲学校、都立八王子盲学校、宮城教育大学教員)

FUN DAY 企画運営

[調査・研究活動]

科学研究費補助金基盤研究(C)「共和主義におけるピールのミュージアムの教育的役割と視覚による教育の成立」(研究代表、課題番号:24501276)

[口頭発表]

「ポートレートによる国家の歴史: ナショナル・ポートレート・ギャラリーの諸問題」(表象文化論学会第8回大会、パネル「ミュージアム的世界としてのアメリカ合衆国」、関西大学、2013年6月30日)

「ミュージアムの空間構成と教育プログラム—歴史展示の装置として—」(第49回日本比較教育学会全国大会、上智大学、2013年7月7日)

[講演など]

平成25年度博物館学芸員専門講座(国立教育政策研究所社会教育実践研究センター主催)シンポジウム「博物館の可能性をさぐる」シンポジスト、2013年12月6日

早稲田大学大学院教育学研究科 社会科教育研究演習 講師、2013年6月24日

[教育活動]

立教大学非常勤講師

[その他]

全国美術館会議 企画幹事

渡辺晋輔 / Shinsuke WATANABE

[展覧会]

「イタリア版画展—新取作品を中心に」展、2013年9月6日—11月17日

[著作・論文等]

共著:

『ローマ—外国人芸術家たちの都』〈西洋近代の都市と芸術〉第1巻(佐藤直樹編)竹林舎、2013年

『イメージの探検学 IV 版画の写像学—デューラーからレンブラントへ』ありな書房、2013年

[論文]

「礼拝と展示のはざま—19世紀初めのローマにおける展覧会事情」『ローマ—外国人芸術家たちの都』(上掲)所収、pp.25-42

「ラファエロの版画戦略と版画家の創意—アンニーバレ・カラッチ《岐路に立つヘラクレス》との関係をめぐって」『イメージの探検学 IV 版画の写像学—デューラーからレンブラントへ』(上掲)所収、pp.127-150

「Annibale Carracci's Hercules at the Crossroad and Marco Dente's print」『国立西洋美術館研究紀要』No.18(2014年)、pp.23-29

[講演等]

ラファエロ展関連レクチャー(先生のためのレクチャー:4月6日/日本工業倶楽部:4月9日/日伊協会:4月13日/JR大人の休日倶楽部:5月10日/キャノン特別内覧会:5月13日/千葉市民文化大学:5月14日・21日/美術観賞会:5月16日/みずほ銀行特別内覧会:5月20日/イル・フィオーレ:5月23日)

「フィレンツェのラファエロ」国立西洋美術館、2013年4月20日

「ラファエロ展×フランシス・ペーコン展 展覧会をつくる」保坂健二朗氏・藤原えりみ氏との鼎談、青山ブックスクール、2013年5月11日

「イタリア・ルネサンスの宗教画とその空間描写」青山女子短期学院短期大学、2013年11月2日

「版画における作者の痕跡」武蔵野美術大学版画研究室、2013年11月25日

[新聞・雑誌記事]

「ぎやらいいモール」、読売新聞4月2日夕刊

「本当のラファエロ: 諏訪敦氏との対談」『美術手帖』vol.65(2013年5月)、pp.30-36

「レオナルドとミケランジェロ ふたりの巨匠から学んだもの」『美術手帖』vol.65(2013年5月)、p.37

[ラジオ出演]

「坂上みきのエンタメ go! go!」、2013年5月6日-10日